DVP-1

ボイス ビー アンビシャス
——言葉が、声が、いまプレイヤーの新しいエナジーになる。

DIGITAL VOICE PROCESSOR ¥149,000

D.S.P. (Digital Signal Processor)搭載により、高速音声信号処理が実現。声質、明瞭度までもコントロールし、ボコーダーとしての表現領域を拡大。また、半音ごと、上下1オクターブにわたり和音でのハーモナイズも可能に。しかも音色コントロールができる8種類の波形まで内蔵。最新の機能、全く新しいサウンド・コンセプトから誕生したMIDIボイスプロセッサー、DVP-1登場。いま、ボイスが新しい表現力を装備する。

DVP-1は高速音声信号処理を可能にしたLSIでD.S.P.(Digital Signal Processor)*を搭載した、MIDIボイスプロセッサーです。基本機能として4つのモードを備え、そのメインといえるボコーダーモードでは、入力された音色から音素を認識する上で重要な音色の要素(子音、フォルマント)を取り出し、MIDIキーボードで打鍵された音程に再合成。これまでのボコーダーと異なり、デジタル方式で信号処理を行なうため、声質や明瞭度のコントロールまでも実現。ボコーダーの表現力を大きく進歩させました。またインターナルウェーブモードでは、内蔵の8種類の波形をもとに音色コントロールができ、外部音声なしにボコーダー的な効果が得られます。このため、DVP-1をMIDIキーボードの音源として使うことも可能です。さらにハーモナイズモードでは、MIDIキーボードによってハーモナイズのピッチシフト量をコントロールし、入力した音声信号の音程を半音ごと、上下1オクターブにわたってハーモナイズすることができます。またコードメモリー機能により、あらかじめセットした和音構成で入力音声をハーモナイズ出力することも自在。数台のハーモナイズユニットを必要としていた平行和音演奏もDVP-1一台で可能です。ピッチシフトモードでは、入力音声を1セット単位で上下1オクターブ以上(−1200cent〜+1299cent)にわたってピッチシフトすることができ、通常のハーモナイズユニットとして使うことができます。そのほか、音色を多彩に、個性的にアレンジするデジタルコーラス、ユニゾン機能、演奏効果を最大限に引き出すゲート、フリーズ機能も装備。さらに64種類のセッティングを記憶できるプログラマーを搭載。使用モード、パラメーター、コーラスやユニゾン機能のON/OFFを記憶させておくことができます。また、キーウインドウ機能の装備により受信するMIDIノートデータの範囲をDVP-1側で設定可能。EX-8000などの音源ユニットとの組合せで、スプリット機能のないキーボードでもスプリットプレイやレイヤープレイなどが思いのまま。DVP-1は、これまでのボコーダーのイメージを超えた全く新しいボイスプロセッサーです。

*Digital Signal Processor:デジタル信号処理

ボコーダーモード

DVP-1に搭載されたD.S.P.は、入力された音声から言葉を認識する上で重要な音色の要素「子音」、「フォルマント」を高速音声信号処理によって取り出すことを可能にしました。これにより、従来のアナログ方式のボコーダーにくらべ、はるかに幅広い音色合成を実現。とくに、母音に含まれる倍音成分の中心周波数を動かし、声質そのものに変化をつけられるフォルマント・シフト、入力された声の子音だけを分離し、ボコーダー機能を通さずにクリアーに出力できるブレス・パイパス、はっきりした声からぼやけた声まで、明瞭度を自在にコントロールできるウインドウ・レングスなど、デジタルならではの画期的なパラメーターの装備により、ボコーダーの表現領域を一気に拡大しました。また、ピッチ・エンベロープジェネレーター、モジュレーションジェネレーター、ポルタメントなどにより、音程や音量変化のコントロールもより細かく可能。やわらかい女性コーラスから力強い男性コーラス、エレクトロニックボイスまで、自由に表現することができます。このモードでは最大3音までのポリフォニック演奏ができます。

インターナルウェーブモード

あらかじめ記録されている8種類の波形をもとに、ボコーダーモードと同じパラメーターによって音色のコントロールができます。マイクなどによる外部音声入力を必要としないため、DVP-1をコーラスやポイズンサンプルなど、MIDIキーボードの音源として使用することができます。このモードでも最大5音までのポリフォニック演奏が可能です。

ハーモナイズモード

MIDIキーボードによってハーモナイズのピッチシフト量をコントロールし、入力した音声信号の音程を半音ごとに、上下1オクターブにわたってハーモナイズすることができます。この場合も、最大5音までのポリフォニック演奏が可能。一人の声で大勢のコーラスのような効果が得られます。またこのモードには、入力した音声をあらかじめセットした和音構成で出力できるコードメモリー機能も装備。従来は数台のハーモナイズユニットを必要としていた平行和音演奏も、この1台で可能。

和音の設定はMIDIキーボードまたはパネル上のパラメーター操作で行なえます。このモードでも最大5音までのポリフォニック演奏が可能です。

ピッチシフトモード

入力音声をセット単位で−1200cent〜+1299centにわたってピッチシフトすることができます。従来のハーモナイズユニット同様、コーラス、ディチューン、オクターブなど、さまざまな効果が得られます。

音色をより多彩に、個性的に、演奏をいっそう効果的に、4つのモードをサポートする充実機能。

モード / 機能	ボコーダー	インターナルウェーブ	ハーモナイズ	ピッチシフト
ポリフォニック(最大3音)	●	●	●	●
デジタルコーラス	●	●	●	●
ユニゾン	●	●	●	●
ゲート	●		●	●
フリーズ	●		●	●
ポルタメント	●	●		

※コーラスON時には8ボイスになります。
※ピッチシフトモードでは、つねにユニゾンになります。

■ゲート機能

入力音の音量が一定の値より下がったとき、自動的に出力音を減衰させる機能です。入力レベルのバラつきなどによる不自然さを解消、ナチュラルな出力を可能にします。また減衰を始めるレベルと減衰時間は任意に設定できます。

■フリーズ機能

入力された波形の一部分を、フットスイッチまたはMIDIのコントロールチェンジで取り出し、その音声をループすることができる機能。コーラスやアンサンブルを持続させたいときにホールド効果が得られ、音声を入力せずに鍛錬による演奏ができます。

'86 KORG NEW PRODUCTS

MIDI INDICATOR
PROGRAM NO.
PARAMETER NO.
VALU